

12/11 人と人がつながるやさしいまちへ 歳末たすけあい運動チャリティー芸能公演



市民会館にて「歳末たすけあい運動チャリティー芸能公演」(主催:宜野湾市社会福祉協議会)が開催されました。今年、市社会福祉協議会法人設立50周年並びに市制施行60周年を迎えることから、市民相互の助け合いを実現させることを目的として開催されました。伊佐友孝会長は「今後とも福祉ニーズに対応しながら、地域での支え合い活動を推進していきたい」と挨拶しました。

12/18 ハッピーメリークリスマス! 沖縄ダルククリスマス会



一般社団法人沖縄ダルクの皆さんが市社会福祉センターを訪れ、中原区子供会の皆さんを招いて「リースづくりのワークショップ」を開催しました。このイベントは、人とのつながりを感じながら、沖縄ダルクができることとして地域福祉に貢献し、地域社会とつながることを目的としており、ワークショップ後はエイサー演武が披露されたのち、参加した子供たちにクリスマスプレゼントが配られました。

12/4 花であふれる豊かな公園に 花植え体験フェスティバル開催



嘉数高台公園入口花壇にて、花植え体験フェスティバルが開催され、花々の植え付けが行われました。当イベントは、有限会社海邦造園が主催となっており、地域の緑化推進などに協力したい思いと、嘉数自治会の取り組みが合わさり、協働で行われました。子どもたちも最初は思うようにいかない様子でしたが、植え付けに慣れてくると、服の汚れも気にせず夢中で植え付ける姿も見られました。

12/5 思いよ届け!じーん! 琉聖天女ハニン参上!



市商工会青年部の関係者が市役所を訪れ、事業と新しく誕生したキャラクターの報告を行いました。「琉聖天女ハニン」は、市に伝わる羽衣伝説をイメージし、羽衣を意味する「はにんす」から命名されています。盛長健青年部長は「琉聖天女ハニンが市のPRを担うキャラクターとして、地域の皆さまに愛され、経済・産業発展の一助となるよう活動の場を広げていきたいです」と語りました。

12/19 冬場の脱水症状に気を付けて 大塚製薬株式会社より飲料水寄贈



新型コロナワクチン集団接種会場へ、大塚製薬株式会社から飲料水500ml 720本の寄贈がありました。同社とは、健康増進および市民サービスの向上を目的に包括協定を締結しており、接種会場への寄贈は3回目となります。同社熊本支店那覇出張所の坂元康一所長は「インフルエンザ等も流行し始めることをふまえ、水分補給を行うことで乾燥対策や体調管理の一助になれば幸いです」と挨拶しました。

12/19 燃やせ!蹴球魂!! U-12サッカーフェスティバルin宮崎出場報告



石川葵さんが市役所を訪れ、「第10回九州地区U-12サッカーフェスティバルin宮崎」への出場を報告しました。10月に開催された「JFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会沖縄県大会」にて、比屋根FCが準優勝の好成績を取ったことで、今大会への出場を果たしました。石川さんは「どんなに強い相手でも、自分ができることを一生懸命やりたいと思います!」と意気込みを語りました。

12/6 子供たちの未来のために 市育英会へ寄附金贈呈



北谷町在住の知念亨子さんが教育委員会を訪れ、ご主人(故)知念繁さんの香典返しとして市育英会へ寄附金贈呈を行いました。知念さんは「宜野湾市の子供の人材育成のために役に立っていただきたい」と話されました。また、ご主人の繁さんは、真志喜中学校校長等を歴任し、学校教育の充実と発展のために多大な貢献をされたことを高く評価され、瑞宝双光章を受章されております。

12/6 市民の代表機関として英知を結集 宜野湾市議会60周年記念式典

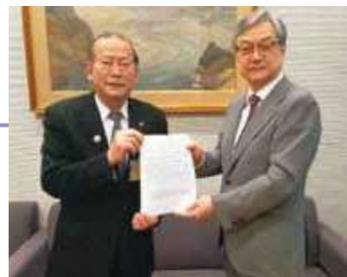


宜野湾市の誕生に伴い発足した市議会も60周年を数え、それを祝う「宜野湾市議会60周年記念式典」が、議場にて執り行われました。呉屋等議長は「市議会はこれまで、市の発展の礎を築く多くの議決を重ねてまいりました。今後も、市民が安全安心に暮らせるまちづくりのために、市議会の歴史と伝統を受け継ぎ、議員一丸となって市政の発展に取り組んでいきます」と挨拶しました。

市政フラッシュ

11/30,12/1 普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還及び速やかな運用停止の実現並びに基地利用の推進について(要請)

返還合意から26年が経過する今なお、返還が実現していないなか、市民生活に大きな影響を与えている現状を踏まえ、早期の閉鎖・返還と返還までの間の危険性の除去及び基地負担軽減の実現に向けて、目に見える形での取り組みを求めるとともに、返還期日を確定するよう強く要請しました。また、早期の運用停止を実現するため、普天間飛行場負担軽減推進会議及び同作業部会開催を求めました。



12/4 松野官房長官との面談について

松野博一内閣官房長官が宜野湾市を訪れ、松川市長と面談を行いました。官房長官は「普天間飛行場を抱える宜野湾市の皆様には、訓練による騒音などの影響について御負担をおかけしています。今後とも基地負担軽減のために努力をして参る考えであります。P.F.O.S等については、皆様に不安をおかけしていると承知しております。関連の諸問題にしっかり取り組んでまいります。」と話しました。



12/7 笑顔咲く 思いやりから 広がる和(輪) 第14回「響きあう言葉」のコンテスト



児童・生徒が、日頃考えていること、生活の中で体験したことや想いを、短い言葉の中に表現することで、言葉の意味や言葉の持つ明暗を知り、学び、正しく社会を見る目を育てることを目的とした「第14回「響きあう言葉」のコンテスト」の表彰式が開催されました。「平和」をテーマに、市内の小中学生119人の応募作品の中から、最優秀賞、優秀賞を受賞した生徒の皆さんが表彰されました。

12/8 この脚でどんな壁も飛び越えてみせる 全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場報告



岸本祥さんと野沢百合アイナさんが市役所を訪れ、「第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」への出場を報告しました。岸本さんは「自分のプレーを活かし、全国でも頑張っていきたい」、野沢さんは「今まで達成できなかったベスト8を目指したい」と意気込みを語り、松川市長は「体調に気を付けつつ、普段の力を発揮できるように頑張ってください」と激励しました。